

< 資産を減らして借金返済 >

有利子負債月商倍率(X8) = (短期借入金 + コマーシャル・ペーパー + 長期借入金 + 社債 + 転換社債 + 新株引受権付社債 + 受取手形割引高) / (売上高 ÷ 1.2)

この指標は数値が小さいほど、評点がプラスとなります。(上限値 0.0 下限値 10.8)

Y点への寄与度は16.2%と大きく、純支払利息比率(X9)の10.7%と合わせると26.9%にもなります。もちろん、個別企業における寄与度はその会社によって異なりますが、建設省では、平均的な企業では、有利子負債月商倍率(X8)が17.0%、純支払利息比率(X9)が11.3%と見えています。借入金があるといかに点数が下がるかがよく分かります。企業倒産は資金繰りがつかない場合に発生するもので、借入金の多い会社に多く発生します。建設省はこのことに敏感になっているのです。

「借入金を減らしたい。」これはどの経営者の願いではありますが、その姿勢はまちまちです。絶対に借金をしない人もいればいつか返せばいいやと気軽に借金をして欲しい物を手に入れる人もいます。しかし、建設会社においては、借入金の存在は点数に大きく影響しますので、慎重な姿勢が望まれるのです。

借金は儲けて返すと漠然と考えている人がいます。そのことももちろん大切ですが、資産を減らして借金を返すことも考えてみましょう。

借入金を減少させる方法は、図の貸借対照表のように 資産圧縮 借入金圧縮 資本増加 借入金圧縮 借入金以外の負債増加 借入金圧縮となります。「儲けて返す」とは概念的には、資本増加 借入金圧縮になるのですが、これはなかなか大変です。資産圧縮 借入金圧縮に目を向けてみましょう。

皆さんが借り入れて資金を作らなくてはならないのは、まず、設備投資(固定資産の取得)です。固定資産を取得しな

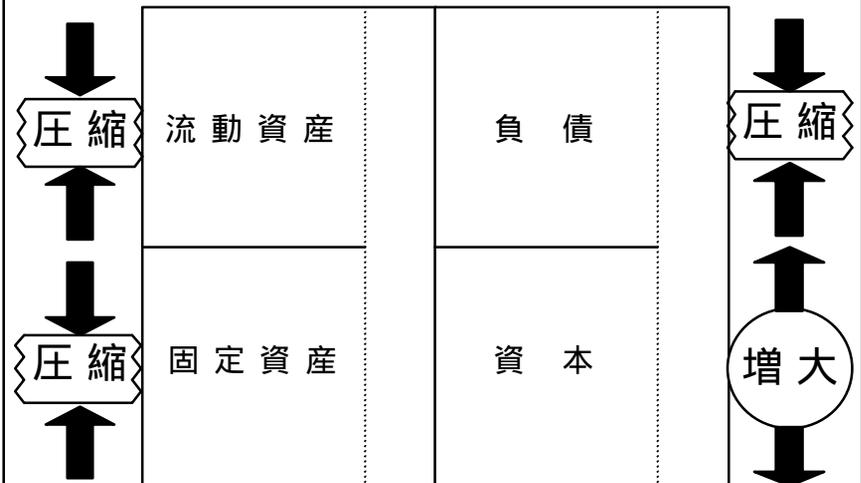
ければ、借入金が少ないで済みます。衝動買いはやめましょう。もちろん、仕事をするには機械も車も必要です。そこで、固定資産を取得しないでよい方法は、「賃借」です。借りればいいのです。しかし、何でも他人から借りていたのでは利益は上がりません。そこでは一工夫が必要です。

次に必要なのは運転資金です。未成工事支出金が増えたり、売上債権(受取手形、完成工事未収金など)の回収が長期化した場合には、工事未払金等の支払に資金が不足して借り入れることがあります。この場合は、小手先の対策では対応できないので、工期管理を徹底して工期を短縮したり、発注者の資金繰りに注意して、売上債権を早期に回収して、借入をしなくて済むようにしなくてはなりません。

いずれにしても、「資産の圧縮」がキーワードです。そうすれば必ず有利子負債は減るでしょう。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

貸借対照表



Wisdom99 経審点数計算・点数アップシミュレーションシステム・経審申請書類作成システム(発売中)
 Wisdom99 建設業許可申請書類作成システムは99年11月完成予定です。

資料請求
 注文希望(注文用紙を送付します。)

*すでにご注文をいただいたお客様にもこのFAXは届いております。

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所(商品送付先) 〒	
TEL	FAX
e-mail	決算月